

ガーデンデザイナーが審査

9月24日、学校緑化推進事業の審査員を務めるガーデンデザイナーの中澤由香里さんと教育委員のみなさんが、一次審査を通過した5校をまわり、各学校の最終審査を行いました。

中澤さんは、英国王立園芸協会コンテナゲーディングマスタの称号をもち、造園・園芸のプロとして活躍しています。

各学校の取組みを見た中澤さんは、

『学校の緑化』なので、今回の審査では、主に学校の雰囲気緑化によってどのように変化しているかという部分を見ました。どの学校も育てるだけではなく、地域との交流や環境学習、食育などにつ



審査員／ガーデンデザイナー
中澤 由香里さん



なげていたことが素晴らしかったです。植物は、土地柄に合った形で優しく育てることが大切。なるべく無農薬のものを使用して、自然な美しさを大切にしてほしいです。ぜひ今年の経験を生かして、来年につなげてほしいですね。」と、コメント。

竹原の豊かな自然環境は植物を育てやすいそうです。これからも、緑あふれる学校で子どもたちが生き生きと生活を送ることができるよう、取組みを進めます。



荘野小学校

～緑のカーテンで登下校～

全校児童が協力して、校舎の壁を琉球アサガオのグリーンカーテンで覆いました。花壇では、マリーゴールドやサルビア、日々草など、色とりどりの植物を栽培。また、地域に住む一人暮らしの高齢者に、育てた花をプレゼントしました。

登下校時、グリーンカーテンと校舎の間にできた「トンネル」を通るのが児童の楽しみです。



児童の五七五

あさがおを いじめるあめが
きらいです (1年 森 菜々美さん)
あさがおよ ぐんぐん伸びて
どこまでいく (5年 石盛 泰聖くん)



仁賀小学校

～地域と一緒に活動～

飼育栽培委員会が中心となって、校内でアイデアを募集。学校周辺のフェンスに琉球アサガオとフウセンカズラのグリーンカーテン、ミツデ楓の周りにマリーゴールドの花の塔をつくりました。

地域の林業研究グループ「やまぼうしの会」や高齢者のみなさんも児童に協力。

児童は毎朝、花壇に寄ってから校舎へ向かっています。



児童の感想
土づくりも水運びも大変だった。

「やまぼうしの会」の人たちが一緒にやってくれてうれしかった。
(4年 新原 茅さん)



吉名中学校

～一鉢の菊を大切に～

生徒会を中心に、一人一鉢、菊を栽培しました。生徒を指導したのは、地域に住む黒川勝利さん。難しいとされる菊の栽培を、丁寧に教えてくださいました。

現在、部活単位で当番を決めて、生徒が主体的に水やりをし、菊の成長を見守っています。大きく育った菊は、職場体験等でお世話になった地域の事業所や施設に届ける予定です。



生徒の感想

今年から、全校生徒が水やりに参加しています。初めて参加する人も、しっかりやってくれて嬉しいです。

(生徒会3年 岡村 綾子さん、
谷川 真那美さん、釜山 祥子さん)